

診断処方箋

岩手県本部

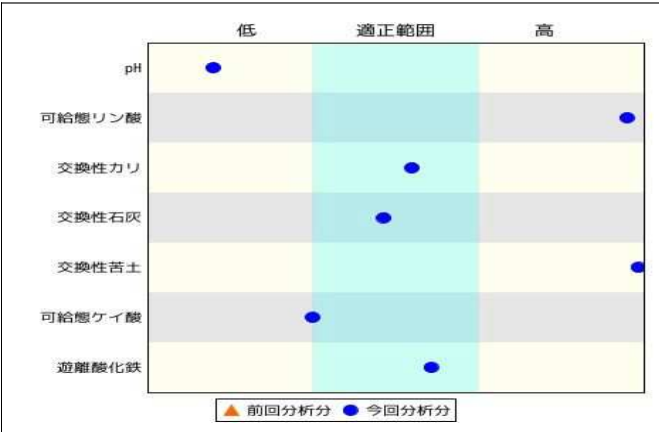
様

依頼先	広域土壌分析センター岩手	所属		受付日	2023/02/17
サンプルNo	7522	JA	JAいわて花巻	支店	西和賀地域営農グループ

詳細情報

圃場		面積	10a	採土場所	湯ノ沢	採土日	
作物	イネ	品種		栽培様式	作型	土性	
土壌種類	非火山灰土壌	採土時期		作土深	農家コード		

分析結果グラフ



分析所見

- ・pHが低くなっています。
- ・可給態リン酸が富化しています。リン酸肥料は削減または無施用が可能です。
- ・交換性加里は適正です。加里肥料は標準量（補給型）を施用します。
- ・交換性石灰は適正です。
- ・交換性苦土が多くなっています。
- ・可給態ケイ酸は適正です。補給型施肥としてケイ酸を30kg/10a程度施用しましょう。
- ・遊離酸化鉄は良好です。
- ・石灰苦土比が低くなっています(2.3)。バランスに注意しましょう。
- ・苦土加里比が高くなっています(6.5)。バランスに注意しましょう。

分析結果

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
pH	-	5.2▼低い		5.5～6.0	
EC	mS/cm	0.06			
可給態リン酸	mg/100g	48.0▲高い		10.0～30.0	
交換性カリ	mg/100g	32.0		20.0～40.0	
交換性石灰	mg/100g	286		200.0～400.0	
交換性苦土	mg/100g	89.0▲高い		30.0～60.0	
可給態ケイ酸	mg/100g	15.0		15.0～25.0	
遊離酸化鉄	%	1.3		0.8～1.5	
石灰飽和度		*			
苦土飽和度		*			

土づくり肥料 目安施肥量

	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
10aあたり(kg)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

土づくり肥料と投入量 圃場あたり(kg)

肥料銘柄	重量	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
	合計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	過不足	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

土づくり肥料

特記事項

- ・作土深は10.00cmで計算しています。
- ・仮比重は1.00で計算しています。
- ・土壌図(農研機構:日本土壌イベントリー土壌図、<<https://soil-inventory.rad.naro.go.jp/>>)から土壌の種類を推定できます。
- ・資材量が300kg/10aを超えるときは、数年かけて計画的に改良しましょう。
- ・分析値が有効態ケイ酸50mg / 100 gを超える場合には50mg / 100 g、遊離酸化鉄6 %を超える場合には6%と表示されます。(分析値上限のため)

コメント

- 可給態リン酸、交換性苦土が高いことから、これらの成分を含む肥料と思われる過剰施用の傾向が見られます。元肥で成分を調整してください。
- 定期的に土壌診断を実施し、過不足している成分を確認しましょう。

診断処方箋

岩手県本部

湯ノ沢農家組合

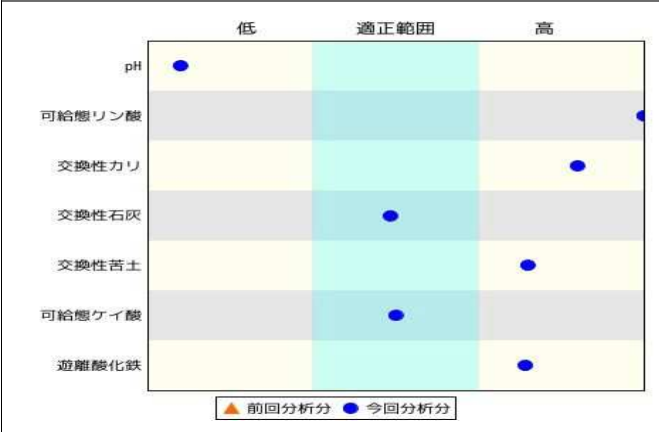
様

依頼先	広域土壌分析センター岩手	所属		受付日	2023/02/17
サンプルNo	7523	JA	JAいわて花巻	支店	西和賀地域営農グループ

■ 詳細情報

圃場	2	面積	10a	採土場所	湯ノ沢	採土日	
作物	イネ	品種		栽培様式	作型	土性	
土壌種類	非火山灰土壌	採土時期		作土深	農家コード		

■ 分析結果グラフ



■ 分析所見

- ・pHが低くなっています。
- ・可給態リン酸が富化しています。リン酸肥料は削減または無施用が可能です。
- ・交換性加里が富化しています。加里肥料は削減または無施用が可能です。
- ・交換性石灰は適正です。
- ・交換性苦土が多くなっています。
- ・可給態ケイ酸は適正です。補給型施肥としてケイ酸を30kg/10a程度施用しましょう。
- ・遊離酸化鉄が高くなっています。
- ・石灰苦土比は適正です(3.1)。
- ・苦土加里比は適正です(3.1)。

■ 分析結果

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
pH	-	5.1 ▼低い		5.5～6.0	
EC	mS/cm	0.08			
可給態リン酸	mg/100g	53.0 ▲高い		10.0～30.0	
交換性カリ	mg/100g	52.0 ▲高い		20.0～40.0	
交換性石灰	mg/100g	294		200.0～400.0	
交換性苦土	mg/100g	69.0 ▲高い		30.0～60.0	
可給態ケイ酸	mg/100g	20.0		15.0～25.0	
遊離酸化鉄	%	1.7 ▲高い		0.8～1.5	
石灰飽和度		*			
苦土飽和度		*			

■ 土づくり肥料 目安施肥量

	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
10aあたり(kg)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

■ 土づくり肥料と投入量 圃場あたり(kg)

肥料銘柄	重量	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
	合計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	過不足	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

■ 土づくり肥料

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
加里飽和度		*			
塩基飽和度		*			
Ca/Mg 比		3.0			
Mg/K 比		3.1			

■ 特記事項

- ・作土深は10.00cmで計算しています。
- ・仮比重は1.00で計算しています。
- ・土壌図(農研機構:日本土壌イベントリー土壌図、<<https://soil-inventory.rad.naro.go.jp/>>)から土壌の種類を推定できます。
- ・資材量が300kg/10aを超えるときは、数年かけて計画的に改良しましょう。
- ・分析値が有効態ケイ酸50mg / 100 gを超える場合には50mg / 100 g、遊離酸化鉄6 %を超える場合には6%と表示されます。(分析値上限のため)

■ コメント

- 可給態リン酸、交換性カリ及び苦土が高いことから、これらの成分を含む有機物(若しくは肥料)と思われる過剰施用の傾向が見られます。元肥で成分を調整してください。
- 定期的に土壌診断を実施し、過不足している成分を確認しましょう。